

区分・種別	国宝(建造物)		
名称	たいさんじほんどう 太山寺本堂 1棟		
所在地	松山市太山寺町		
所有者	太山寺	管理団体	
指定年月日	明治37年8月29日 国 昭和31年6月28日 国宝		
解説	<p>真言宗^{ちさんは}智山派太山寺は、四国八十八か所52番札所である。寺伝によるとその創建は遠く用明天皇の世（585～587年）にさかのぼり、朝廷の尊崇も厚かったという。</p> <p>本堂の建物は、桁行7間、梁間9間、一重、入母屋造、^{ふた}二軒、本瓦葺である。内・外陣境の^{げじん}墓股及び^{かえるまた}厨子の墓股の墨書銘から、嘉元3（1305）年の建立と考えられる。柱・梁などの木組みは大きく、柱上の組物などは和様を基本にしながら、^{こうりょう}虹梁とその^{さしひじき}挿肘木には大仏様の手法が併用されるなど、折衷様としての表現力にも優れている。構造も豪放で、密教本堂としては全国屈指の規模を誇るものである。また、その内陣が土壇となっているのは、当時の密教本堂としては全国的にも珍しく、正面柱間の^{なかそなえ}中備に置かれた墓股は、鎌倉時代の力強い作風を示す代表作と評価されている。</p> <p>なお、重要文化財の木造十一面観音立像・木造十一面観音立像（本堂安置）が本堂に安置されている。</p>		

